

ジェイファーマ株式会社

<https://www.j-pharma.com/>

トランスポーター（細胞膜タンパク質）を標的とした医薬品・診断薬の開発

J-Pharma

会社の特徴、事業概要

ジェイファーマはトランスポーターを標的分子とした医薬品の研究開発を進めている会社である。トランスポーターとは細胞膜に存在するタンパク質の一つで、栄養素の補給や老廃物の排出など細胞内外の物質輸送に関与している。ジェイファーマは、がん細胞に特異的に発現しているアミノ酸トランスポーター「LAT1」が、がん細胞の増殖等と密接に関係していることを発見し、この「LAT1」を標的とした抗がん剤やPET診断薬の開発を進めている。

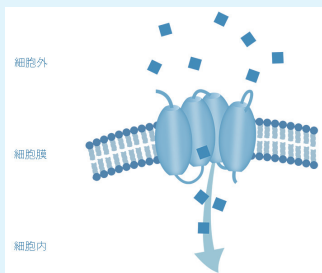
胆道がんや膵がんは部位別がんの中で男女ともに死亡率が高い一方で、新薬の開発が進んでいないことからアンメット・メディカルニーズの高い領域である。これまでのがん検査用PET診断薬はがん以外の部位も光ることでがんの特定が難しい他、がんと炎症部位が区別できないとされている中、ジェイファーマは、既存品の課題を解決すべく、がん検査用PET診断薬の開発を進めている。

大阪大学との関係

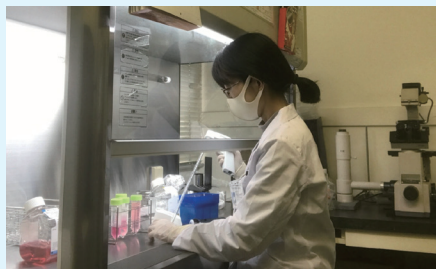
大阪大学大学院医学系研究科の金井好克教授らは、がん細胞に特異的に発現しているアミノ酸トランスポーター「LAT1」の機能を阻害する抗がん剤（OKY-034）を創出し、膵がんを対象疾患として臨床試験を実施。また、金井教授らは、がん検査用PET診断薬（NKO-028）を発明し、共同研究を進めている。

OUVCは2019年に投資を実行。

トランスポーター



研究風景



開発プロジェクト	現在の主要パイプライン一覧						
	標的	主な疾患	国	非臨床	Phase1	Phase2/3	申請
JPH203	LAT1	胆道がん	日本	→	→	→	→
JPH203コンニオン診断薬	未公開	※	→	→	→	→	→
OKY-034	LAT1	膵臓がん	日本	→	→	→	→
LAT1 inhibitor	LAT1	自己免疫疾患	米国	→	→	→	→
PETプローブ診断薬	LAT1	胆道がん	日本	→	→	→	→



本社所在地

神奈川県横浜市鶴見区小野町75番地1 横浜新技術創造館 1号館

代表取締役

吉武 益広

設立

2005年12月